

第2章 「ベクトル」

5. 基本ベクトルと成分表示

---

**hmb-2-5**

(pdf ファイル)

# ベクトル 学習マップ

## 平面ベクトルの基礎理論

- ベクトルの概念
- ベクトルの演算 —加法と実数倍—
- ベクトルの分解 (一次結合)
- 基本ベクトルと成分表示
- 有向線分の表すベクトルの成分表示
- ベクトルの内積の概念
- ベクトルの内積の基本的応用

## 平面ベクトルの応用

- 位置ベクトルの概念
- 図形のベクトル方程式
- 図形の論証問題
- :

# 平面の基本ベクトル

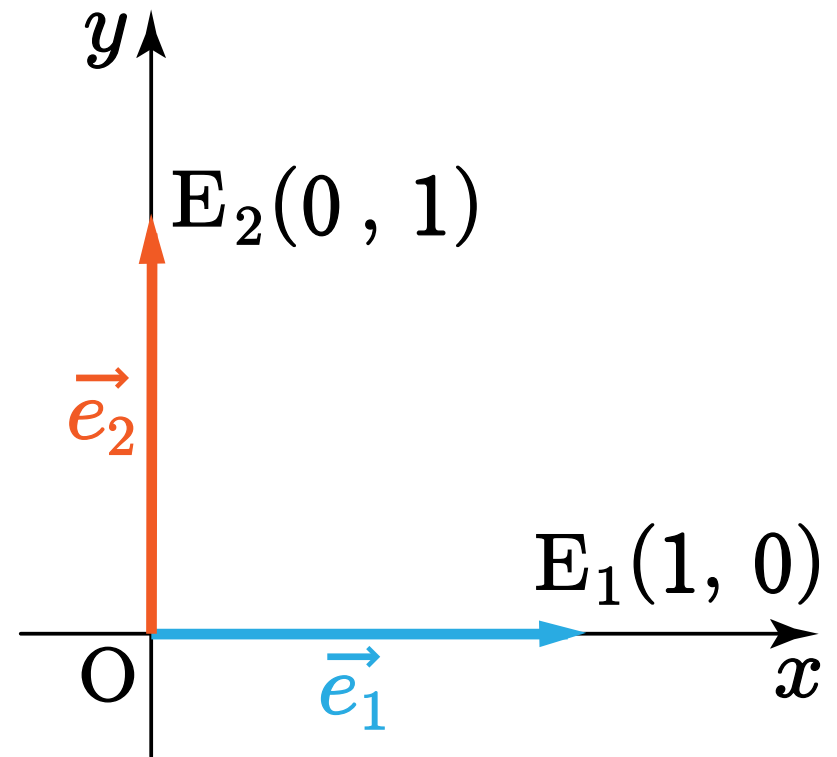
$O$  を原点とする座標平面上で、 $x$  軸および  $y$  軸上に  
2点  $E_1(1, 0)$ ,  $E_2(0, 1)$  をとる.

このとき、座標軸方向の2つの単位ベクトル

$$\vec{e}_1 = \overrightarrow{OE_1}$$

$$\vec{e}_2 = \overrightarrow{OE_2}$$

を平面の **基本ベクトル** という.



## 基本ベクトル方向への分解

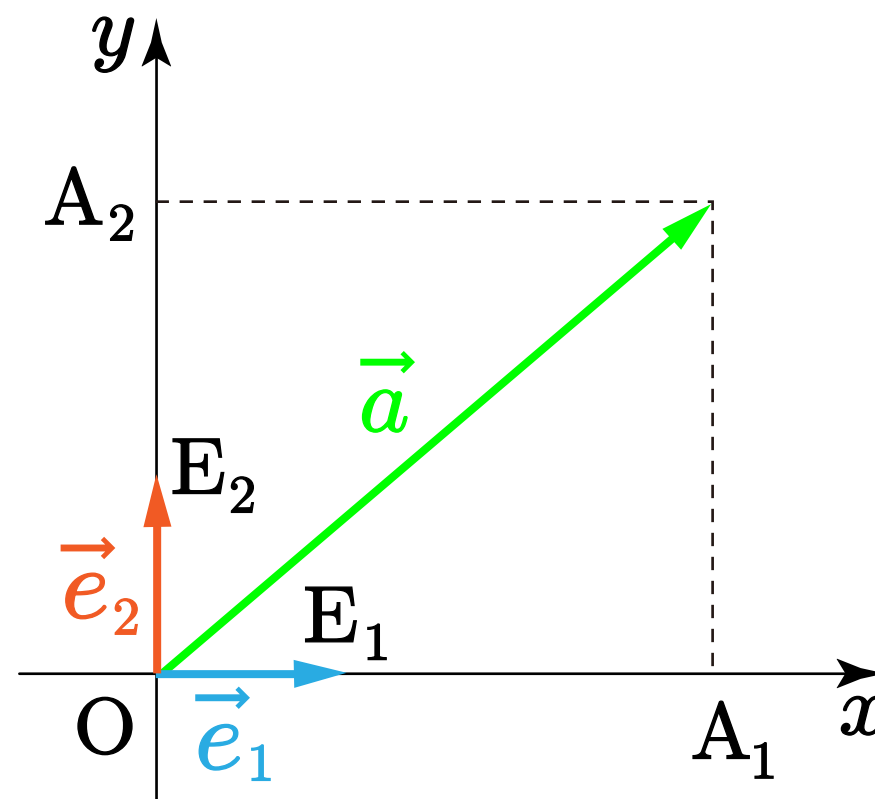
任意のベクトル  $\vec{a}$  に対して、  
 $\vec{OA} = \vec{a}$  となる点  $A$  をとる。

$A$  を通り  $y$  軸,  $x$  軸に平行な直線をひき,  $x$  軸,  $y$  軸との交点をそれぞれ  $A_1$ ,  $A_2$  とする。このとき,

$$\vec{OA_1} = a_1 \vec{e}_1, \quad \vec{OA_2} = a_2 \vec{e}_2$$

となる実数  $a_1$ ,  $a_2$  がある。

$\vec{OA} = \vec{OA_1} + \vec{OA_2}$  であるから,  $\vec{a} = \vec{OA}$  は次の形にただ1通りに表される。



$$\vec{a} = a_1 \vec{e}_1 + a_2 \vec{e}_2$$

# ベクトルの成分, 成分表示

$\vec{a} = a_1\vec{e}_1 + a_2\vec{e}_2$  となるとき,  $a_1, a_2$  を  $\vec{a}$  の **成分**,  
 $a_1$  を  **$x$ 成分**,  $a_2$  を  **$y$ 成分** といい,

$$\vec{a} = (a_1, a_2)$$

と書く. この右辺を,  $\vec{a}$  の **成分表示** という.

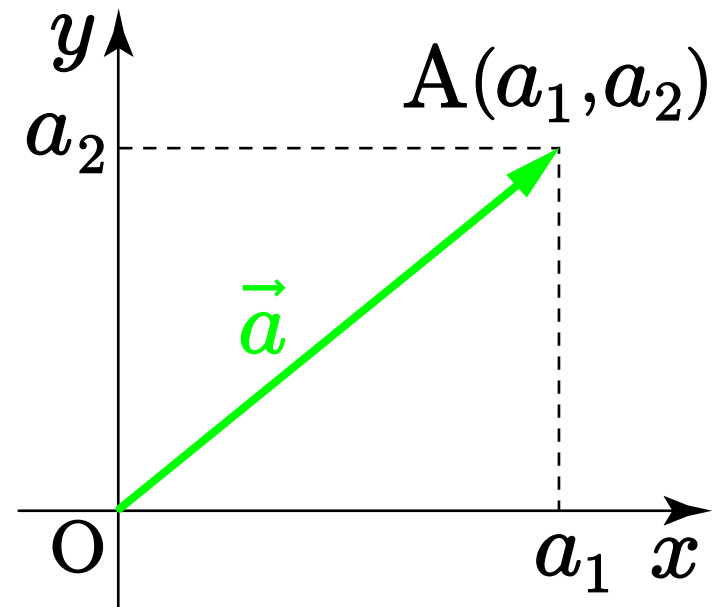
ベクトル  $\vec{a}$  の成分表示  $(a_1, a_2)$  は  $\vec{OA} = \vec{a}$  となる点  $A$  の座標と見掛け上, 一致する. とくに,

$$\vec{e}_1 = (1, 0)$$

$$\vec{e}_2 = (0, 1)$$

$$\vec{0} = (0, 0)$$

である.



# 成分表示されたベクトルの基本性質

成分表示されたベクトルについて次の関係が成り立つ。

## ベクトルの大きさ

$\vec{a} = (a_1, a_2)$  のとき,

$$|\vec{a}| = \sqrt{a_1^2 + a_2^2}$$

**例**  $\vec{a} = (2, 5)$  のとき,  $|\vec{a}| =$

2つのベクトル  $\vec{a} = (a_1, a_2)$ ,  $\vec{b} = (b_1, b_2)$  に対して,

$$\vec{a} = \vec{b} \iff a_1 = b_1 \text{ かつ } a_2 = b_2$$

# ベクトルの演算と成分表示

$\vec{a} = (a_1, a_2)$ ,  $\vec{b} = (b_1, b_2)$  は, 基本ベクトル  $\vec{e}_1, \vec{e}_2$  を用いて,

$$\vec{a} = a_1\vec{e}_1 + a_2\vec{e}_2, \quad \vec{b} = b_1\vec{e}_1 + b_2\vec{e}_2$$

と表されるから,

$$\begin{aligned} \vec{a} + \vec{b} &= (a_1\vec{e}_1 + a_2\vec{e}_2) + (b_1\vec{e}_1 + b_2\vec{e}_2) \\ &= \end{aligned}$$

$$(a_1, a_2) + (b_1, b_2) = (a_1 + b_1, a_2 + b_2)$$

同様に

$$(a_1, a_2) - (b_1, b_2) = (a_1 - b_1, a_2 - b_2)$$

$$k(a_1, a_2) = (ka_1, ka_2) \quad \text{ただし, } k \text{ は実数}$$



## 成分表示されたベクトルの演算例

**例**  $\vec{a} = (1, 3), \vec{b} = (2, 1)$  のとき,

$$2\vec{a} - 3\vec{b} =$$



## 例題

$\vec{a} = (2, 1)$ ,  $\vec{b} = (-1, 1)$  のとき,  $\vec{c} = (1, 5)$  に対して,  $\vec{c} = m\vec{a} + n\vec{b}$  を満たすように,  $m, n$  の値を定めよ.

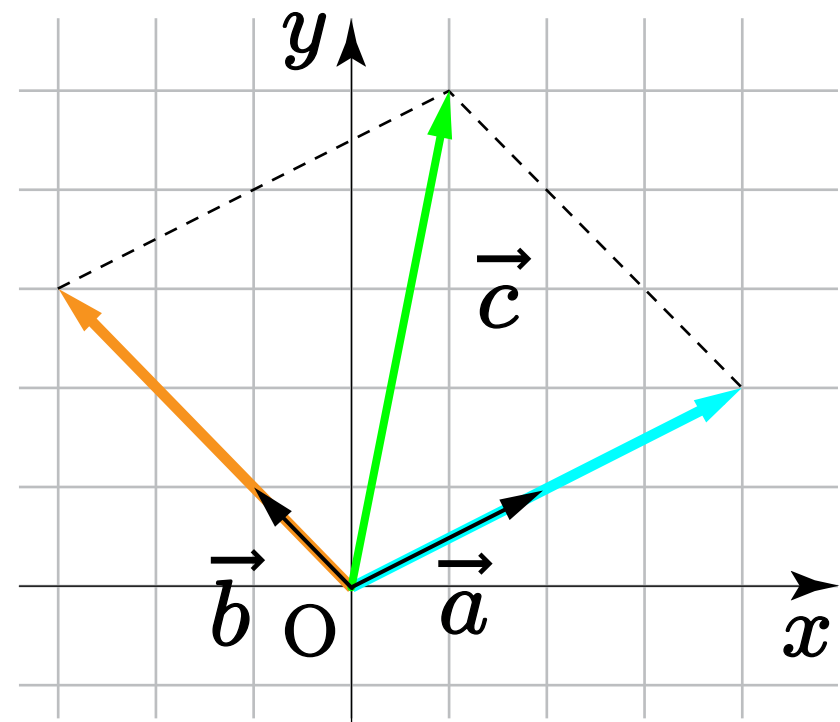
【解】  $m\vec{a} + n\vec{b}$  を成分で表すと,  
 $m(2, 1) + n(-1, 1)$

=

したがって,  $m\vec{a} + n\vec{b} = \vec{c}$   
となるのは,

{

$\therefore m = \quad, n =$



## 注意

どんなベクトル  $\vec{c}$  に対しても,  $\vec{c} = m\vec{a} + n\vec{b}$  を満たすように  $m, n$  を決めることができる.